

令和2年度

自己点検・評価報告書

学校法人 MGL学園

太田動物専門学校

自己点検・評価委員会

令和3年6月11日

1. 学校の現況

学校名 学校法人MGL学園 太田動物専門学校

所在地 群馬県太田市台之郷町 1060-1

設置学科 商業実務専門課程 ペットビジネス学科

文部科学省認定 職業実践専門課程・高等教育の修学新支援制度対象機関

厚生労働省認定 専門職業教育訓練

2. 学校の特徴

①群馬県内のペット業界の要望に応じて、群馬県初の動物専門学校として設立

②ペット業界の代表団体である全国ペット協会と連携して、ペット業界が求める人材を育成しようと努力していること

③学園附属のペットショップを持ち、実践的な実習を行っていること

④卒業生のペット業界へ就職する割合が高いこと。卒業生でこの分野の有名人を輩出していること

⑤世界のトッププロが毎年来学し講演等をおこなうので、世界のトップの技術及び人間性に学生が直に触れることができること

3. 学校の教育理念・目標

基本精神

「共存共栄」

Mission (使命)

「業界に必要とされる人材を輩出し、動物業界の発展・繁栄に寄与する」

行動指針

「M」 マナー…礼儀正しさ

「G」 グリット…やり抜く力

「L」 リーダーシップ…思いやり・模範を示す

教育目標

「利他の人」…人の役に立つ人材に

「積極的な人」…自ら考え行動できる人に

「夢を持つ人」…専門性を生かし活躍できる人に

4. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1. 個人情報保護に対する取り組みの強化
2. 情報セキュリティ管理の徹底
3. 特色ある授業の積極的な展開
4. 教職員採用・育成(FD/SD)計画
5. Web オープンキャンパス等、学生募集強化策の実施
6. 衛生(新型ウイルス感染防止対策)・安全管理の強化
7. ペット業界との連携による就職支援の強化
8. 新・入学試験制度への対応
9. 全教室の LAN 環境など施設設備の充実
10. 遠隔授業の研究・対応
11. e ラーニングマネジメントシステムの構築

5. 評価項目の達成及び取組状況 (全教職員が4~1で評価し、その平均値を評価として記載した)

【評価の判定】 適切 4 ほぼ適切 3 やや不適切 2 不適切 1

[1]教育理念・目標

評価項目	評価
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
・学校における職業教育の特色は何か	4
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
・教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

(優れた点)

- ・ペット業界との産学連携により業界のニーズを正しくヒアリングしカリキュラムに反映している
- ・国家資格になる愛玩動物看護師について正しく法律を理解し、志望者に正しい情報を発信している
- ・学校の目的が明確であり、具体的な事業・業種に合わせたコース設定がなされている。
- ・三つのポリシーが定められており、これに則った運営がされていること。

(自己評価概要)

本校は、「愛玩動物産業の事業者を養成(育成)すること」を目的とし、ペットビジネス学科を設置している。その中で、動物看護コース・プロトリーマーコース・ドッグトレーナーコース・動物総合コースという愛玩動物産業(ペット業界)の具体的な事業(仕事)に分けたコース設定をしているので、どのような人材を育成する学校か明確である。また、このコース設定は、ペット業界が求める人材と合致しているので、職業実践的な教育に適したものとなっている。

さらに「共存共栄」という基本精神は勿論、これを実現するためのMGLという行動指針は学校法人名にもなっているため、広く周知されている。

入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)については、入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)をAO入学要綱に、出願資格を学生募集要項に明確に記載して広く募集活動を行っているため、入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)に沿った学生の受入が適切に実施されている。

[2]学校運営

評価項目	評価
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明文化されているか、有効に機能しているか	4
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

(優れた点)

- ・ペット業界との産学連携を結び、教育課程が各職業分野に期待が持てる。HPで積極的に情報公開を行っている。
- ・学生全員にタブレットとGメールアカウントが配布され、オンライン授業や各種連絡、就職活動の相談など、きめ細やかな学生対応が潤滑に行われている
- ・ホームページのホーム画面に情報公開のリンクがあり、誰もが迷うことなく学校の情報を閲覧できるようになっている。

・情報をドライブに共有することが増え教員同士での情報共有が効率的にできる。

(改善を要する点)

・学生自身が有益な就職先への就職を希望しても、それを保護者が阻害してしまうことがあるため、学生にとって有益な就職を実現できるよう保護者にも理解とサポートをしていただくことが重要。

(自己評価概要)

MGL学園は学生数の多い人気の学校なので、専門学校には珍しく独立監査人の外部監査が義務付けられている。監査法人による厳しいチェックを受け、しっかりとした学校運営と評価されているため、少子化により破綻する学校の多い中でも、MGL学園は安心して通える学校となっている。

また、情報システム化では、学生や教職員一人一人にタブレット端末を配布しているので、日常の連絡や緊急の連絡など、短時間で効率よく連絡を行うことができるようになった。

[3]教育活動

評価項目	評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

(優れた点)

- ・日本能率協会の研修を通して、教職員の能力に応じた課題を設定し、教職員の能力向上を図っている。
- ・ペット業界から求められる資格をいち早く導入し、専門家による資格対策の講習を行っている。
- ・行動指針を明文化することで、学生が業界で求められる能力や人材を把握することができる。
- ・実際にお客様が来店されるペットショップ実習施設での実践的な実習や、動物病院を経営している獣医師による実習、動物愛護法など動物に関する法律について弁護士による講義、国際的な獣医療に関する技術・知識の向上に取り組んでいる新進気鋭の獣医師団体「LIVES」の獣医師による講義など、より高度な知識・技術を実践的に学べるカリキュラムになっている
- ・理事長がペット業界の代表団体である全国ペット協会で常務理事をしているため、ペット業界との連携が良く取れており、教育課程が当該職業分野の期待に応えるものとなっている。

(自己評価概要)

本校の教員は、本校の出身者が多いため、MGL学園の教育理念や教育方針を良く理解をしており、なおかつ社会の現場で活躍してきたプロであることから、技術・知識を学生達に身につけさせるだけではなく、ペット業界で活躍していくための人物像などについても指導していくことができる。また非常勤の講師もそれぞれの分野で活躍する一流の講師であり、例えば独協医科大学元名誉教授の篠田教授が動物看護の授業を担当するなど、学生は一流の講師たちからより専門的な教育が受けられるようになっている。さらに通常の授業以外に特別授業として、2020年度はコロナ禍ということもありリモートにて、LIVESに所属されている専門医（獣医師）のセミナーを受講することができた。リモートということで、なかなか群馬まで足を運んでいただくことのできない獣医師のセミナーは学生はもとより教員の知識の幅がより広がった。LIVESに限らず、毎年何回もペット業界の一流の講師をお呼びして特別授業ができるのも、MGL学園の国内外を問わずペット業界との深い人脈があるからである。それは、MGL学園の理事長が、ペット業界の代表団体である全国ペット協会の役員をしており、ペット業界との連携が良く図れているからであり、今後もMGL学園の強みを活かしたカリキュラムの編成を行いたい。

企業と連携した教職員研修は、本校教職員研修計画書のとおり、企業研修や海外研修を毎年行っている。その他、ペット業界の第一人者や世界で活躍をしているトップトリマー、また動物の遺伝病や繁殖学の世界の権威の先生をお招きして講習会を開いて頂き、技術・知識の向上に役立っている。また、専門の講師を招いて教職員のマナーアップ向上を目的としたセミナーも開催し、さらに、日本能率協会の研修や質保証機構のFD/SD研修にも参加しており、教職員1人1人のスキル向上を図っている。

[4]学修成果

評価項目	評価
・就職率の向上が図られているか	4
・資格取得率の向上が図られているか	4
・退学率の低減が図られているか	4
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

(優れた点)

- ・コロナ禍であってもオンラインで円滑に就職説明会を実施、学生は会場で行う集団説明会よりも説明会の内容をよく聞き取ることができ、希望者は全員就職をすることができた。

・タブレット端末や個別のGメールアドレスを配布し、学修アドバイザーと学生課の連携によって退学者を減らすことができています。

・学生の就職活動状況を全教職員で情報共有することで、多方面から支援が必要な学生へのバックアップ体制が整えられている。

(自己評価概要)

ペット業界との産学連携の強化により、就職率の向上が図られ、さらに待遇の良い企業に多くの学生を送り出すことができています。また、タブレット学習を取り入れ、写真や動画を撮ることにより、プロ(教員)の技術と自身の技術を比較することができるため効率的に技術を身につけることができ、トリミングやドッグトレーニングなど技術を要する資格試験は、全員合格するなどの成果を挙げることができています。また学習アドバイザー制やGメールを活用しての学生1人1人への決め細やかなフォロー体制もあり、退学率も数パーセントと低く、入学した殆どの学生が動物のプロとして巣立っていつている。

学生の満足度について、授業の効果や教材、カリキュラム、指導内容等、総合的に評価するアンケートを毎年各授業ごとに実施している。このアンケートの結果からは、学生の満足度は高く、おおむね意図している学修成果があげられていると評価できる。

卒業生の活躍という観点からは、学修成果があがっていると大いに実感できる。ほとんどの学生が当該専門分野であるペット業界に就職している。その中でも大手企業や待遇の良い企業に就職している学生が多く、グルーミングのオリンピックと言われる「ワールドグルーミングチームチャンピオンシップ」に日本代表として出場しベスト8を獲得するなど、多くの卒業生が活躍している。学生も「就職面接の際や、企業説明会の時も、MGL学園の卒業生のことをほめて下さる方がいらっしゃったため、意図する学修成果があがっていると思う。」と評価している。

本校は学生の満足度が高いためか、卒業生が毎日と言ってよいほど学校に遊びに来るので、卒業生が来校するたびに現状を聴取している。大手企業や待遇の良い企業に就職している学生が多いため、好待遇で就職して良かったという話や、昇進して要職に就いたなどうれしい話をよく聞く。また卒業生の活躍が企業にも評価され、個別で企業説明会をさせて欲しいという声や校内就職説明会に呼んで欲しいという企業からの要請も多数うけている。このようなことから学校の目的に合った、当該職業分野の期待に応える職業実践的な学修効果があがっていると考えます。

[5] 学生支援

評価項目	評価
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に相談する経済的な支援体制は整備されているか	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.9
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.8
・学生の生活環境への支援は行われているか	4
・保護者と適切に連携しているか	4
・卒業生への支援体制はあるか	4
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

(優れた点)

・学修アドバイザーと学生課が連携をし、学修に関する相談や学生生活に関する相談などきめ細やかな対応を行っている。

・保護者やご家族にも学校専用のGメールアドレスを配布し、学校行事や学生生活、奨学金など経済支援策についても随時メールで情報発信し連携をとっている。また保護者からの相談やご意見にも随時適切に対応することができる。

・登校時に体温の管理やアルコールや次亜塩素酸などの消毒液を配備し校内での感染拡大防止を行っている。

・専門実践職業訓練を行なっているので、社会人が学びやすい。

(自己評価概要)

コロナ禍でも学生の指導に関しては、オンラインでの全国ペット協会主催のペット業界合同就職説明会への参加や、MGL学園開催のオンラインでのペット関連企業合同就職説明会を開催するなど、学生がペット業界の大手企業や待遇の良い企業に就職しやすくなるよう取り組んでいる。また大手企業から要請を受けて個別企業説明会を開催することもある。進路相談においても学習アドバイザーが中心となって面談、専門学校では珍しいが学生全員にタブレット端末を配布しているため、Gメールを活用して随時相談や助言を行っているほか、就職専門の職員による面接練習などの取り組みも行っている。さらに、学習アドバイザー、就職担当の職員の垣根を越えて、教職員全体で就職について状況の共有や学生へのサポートもおこなっている。よって、学習を進める上での履修指導等が適切に行われている。

[6]教育環境

評価項目	評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.8
・防災に対する体制は整備されているか	4

(優れた点)

・本校は専修学校設置基準および関連書法令等が定める要件に適合しており、動物看護師統一認定機構の基準にも適合している。

・動物の技術を学ぶ上で欠かすことのできない学校飼育動物や、附属ペットショップ実習施設を完備している等、施設設備が充実している。

・少人数制の学校として十分な施設設備が整っている。

(特記事項)

・コロナ禍でも企業と感染対策を連携し、インターンシップやペットショップワルツでの実習により研修を行えたが、海外研修は断念せざるを得なかった。

(自己評価概要)

本校は少人数制ながら専修学校設置基準および関連書法令等が定める要件を上回る教員数・校地校舎の面積・施設等を有しており、当然、動物看護師統一認定機構の基準にも適合している。さらに、動物の技術を学ぶ上で必要な学校飼育動物やMGL学園附属ペットショップ実習施設やトレーニング室、室内ドッグトレーニング室、パソコン室など豊富な実習施設の他、講義室や学生ラウンジ、学生ロッカーも完備されており、有効活用されている。

[7]学生の受け入れ募集

評価項目	評価
・学生募集活動は、適正に行われているか	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
・学納金は妥当なものとなっているか	4

(優れた点)

- ・オンラインを活用したオープンキャンパスの開催により、進学希望者へ安全に情報発信できている。
- ・新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、経済的損失を被ったご家庭も多くあることに鑑み、進学希望者に入学金免除制度や入学後学費納入制度を実施した。

(自己評価概要)

実入学者数については、定員充足率は毎年90%を超え、しかも入学者数は増加傾向にあるので、定員の数も適正であり、実入学者数が入学定員と比較して適正な数となっている。太田市という小さな市の学校ながら、ペット業界への就職を希望する地域の学生に支持された、人気の学校である。

[8]財務

評価項目	評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4

(優れた点)

- ・財務情報についてホームページの情報公開欄で適切に公開されている
- ・人気校ということもあり学生募集も安定しているため、財務状況も盤石である
- ・独立監査人による監査行われ、その結果もホームページで公開していることから適正に監査が行われている

(自己評価概要)

監査法人の公認会計士による外部監査を行い、適正に運営されていると評価された。

[9]法令等の遵守

評価項目	評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
・自己評価結果を公開しているか	4

(優れた点)

- ・自己評価の実施は毎年行われ、改善点があった場合は改善に向けて取り組んでいる。例えば以前に保護者との連携について改善点があがったが、保護者・ご家族様用のGメールアカウントを配布することによって情報伝達・相談・意見聴取ができるようになり改善が図られている
- ・自己評価結果はホームページで公開されている

(自己評価概要)

教育課程編成委員会は職業実践専門課程の認定要件で定められている委員構成に則って構成されており、委員会は年2回以上開催され、その内容が適切に教育に反映されている。教育課程編成委員会を毎年開催していることにより、関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携による、カリキュラムの作成・見直し等を行うことができた。学生も、「実際に学校で教えている先生だけでなく、卒業生や外部の方から見た客観的な意見が取り入れられる委員構成になっていると思う。」と評価してくれている。

企業と連携した実習は、エル動物病院・DOG&CAT Waltz・佐々木法律事務所・アニー英会話教室・松寿園（ヒューマンアニマルボンド）等、多くの企業と連携して実践的な教育を展開している。教育

課程の中で有効に機能しているため、企業に求められる人材が育成できている。その証拠に、MGL学園で就職説明会を行うと企業に連絡すると、多数応募があるので、企業が本校の学生を求めていることがわかる。学生も「(企業と連携した実習・演習は、教育課程の中で有効に) 機能している。企業の方が講習して下さるので、就職関係が特に役に立つ。」と評価している。

教育活動に関する情報公開は、パンフレットはもちろんのこと、ホームページに適切に公開されており、世界で活躍する卒業生や資格取得実績なども公表されている。学生も「公表されている。見やすく公表されていていいと思う。」と評価している。自己点検・評価および学校関係者評価は毎年適切に実施され、学校関係者の意見や業界からの要望なども反映されている。学生受入状況、教育状況など、ホームページに詳しく記載されている。

自己点検・評価および学校関係者評価は毎年開催され、評価結果を誰もが見るできるようにホームページで適切に公開されている。

自己点検・評価および学校関係者評価では常に改善にむけて課題をみつけ、改善方針を定めて、それを事業計画に反映して毎年の改善目標とし、実行している。

[10] 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.8
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4

(優れた点)

- ・専門実践教育訓練を開講し、対象者を受け入れている。

(特記事項)

- ・コロナ禍により老人ホームへの動物介在活動が行えていないが、いつでも行けるように学生への指導を行っている

(自己評価概要)

太田地域という狭い地域の中で、少人数制の学校ながら、地域になくはない専門教育の場として存在感を増している。今後とも学校法人としての使命を果たしていきたい。

以上

太田動物専門学校

令和2年度 自己点検・評価委員会

委員長 篠田 恵利 (校長)

委員 野口 哲 (教務主任)

委員 上原 伸弘 (学生課)